

釧路文学館だより 8月号

2026年8月1日発行 第87号

企画展「旅する文学～鉄道×地図×文学～」展

2026年8月1日(土)～10月25日(日)

釧路の街に、鉄道が通って125年。釧路駅は、出会いと別れの記憶を刻みながら歩んできました。本展では路線図を辿りながら、各停車場の文学を紹介していきます。

企画展のみどころ

路線でめぐる 文学作品

釧路駅からつながる、JR根室本線、釧路～根室間の花咲線、JR釧網本線など、駅や、停車駅の地にまつわる作品をご紹介します。お借りした、鉄道や列車にまつわるアイテムの展示やパンフレットもございます。ぜひ、夏の旅行がもっと楽しくなる、文学にふれてみてください。

鉄道俳句

「くしろ湿原ノロッコ号」鉄道をテーマに応募された作品より、釧路俳句連盟会長の佐藤一芳氏が100句を選定し、展示しております。道内道外問わず集まった作品で、旅行気分をお楽しみいただけます。

8月のイベント予定

マンスリー朗読会「鉄道が紡ぐ文学紀行」

【朗読作品】芦原伸「さい果ての鉄道哀歌」
河崎秋子『鯨の岬』、渡辺淳一「消えた町、雄別」

8月2日(日) 13:00～14:00 【場所】6階釧路文学館 【定員】30名 【申込】不要

朗読:尾越麻代、本間幸子、佐々木健(釧路リーディングサークル VEGA)

釧路リーディングサークル VEGA の皆さんが企画展に関連した朗読を披露します。

講演会「くしろ・駅と列車の今昔」

8月23日(日) 14:00～15:00 【場所】7階多目的ホール 【定員】80名
【申込】必要(電話・窓口・申し込みフォーム)

講師:鬼頭知彰氏(JR北海道釧路支社長)

釧路駅の歴史を振り返るとともに、JR北海道釧路支社の役割について解説していただき、駅員さんの一日の業務の流れや、花咲線・釧網本線の魅力、鉄道で巡る道東観光ルートなどについて説明します。

申し込みフォーム



釧路高専公開講座「河崎秋子『愚か者の石』を読む」

8月30日(日) 13:00～15:00 【場所】7階多目的ホール 【定員】70名
【申込】必要(電話・窓口・申し込みフォーム)

講演:小田島本有氏(釧路高等専門学校名誉教授)

別海町出身作家河崎秋子氏の『愚か者の石』を小田島本有氏が解説します。

申し込みフォーム



8/27(木)17時まで受付